こちら特報部

本音のコラム

人間的な会社

鎌田 慧（かまた さとし）

「仕事が人を殺すとき」と題するシンポジウムが、先週、目黒の日仏会館で行われた。三〇年ぶりに拙著『自動車絶望工場』の翻訳を復刊させたポール・ジョバンが、パネリストとして来日したので、傍聴にいった。

彼は日本の労働問題の研究者で、彼が学生のころからの友人だが、「過労死」以外に「悪労死」がある、と提起した。働き過ぎによる死亡ばかりでなく、労働環境のストレスによる「悪労死」も認めるべきだという。

私は賛成だが「悪労」よりは「酷労」といったほうがいいかも、と発言した。「脳出血」や心不全などの過労死は、遺族の苦闘と「過労死一一〇番」など弁護団の活躍によって、昔より労災認定されやすくなった。過労からくるうつ病などによる「過労自殺」も認められるようになった。

日本の効率性は、コンベヤー労働のように、高い規律性と緊張の持続と同調化によって、ストレスを増進させている。さらに、成果主義という名の人事考課、断れないサービス残業、自主参加という時間外「QC活動」などの難行苦行がある。

過労死に至る前に過労自殺する人も多く、昨年度は八十一人（前年度比22・7％増）が認定された。しかし、過労だけがその原因ではない。パワハラ、いじめ、嫌がらせ配転、解雇の脅しなど、酷薄な強制がある。人間の顔をした会社ならいいのに。（ルポライター）

前回の値上げの際に、自販機の値札を新価格に切り替えるJT職員＝2006年7月、東京都・新橋で

話題の発掘

公平性を欠く論理

たばこは約二千七百万人に親しまれている大人の嗜好品。すでに個別物品税の中で最も高い水準の税負担をしているお客さまに、これまでの三倍以上の価格を強いるもので、到底納得の得られるものであり、安易な議論。二〇〇三、〇六年に増税が行われたが、そのたびに消費の減少が加速し、たばこの担税力はすでに限界にきている。

また増税が医療費削減につながるとの主張もあるが、医療費増大の原因をたばこにだけ求めることに科学的根拠はない。

たばこは合法的な嗜好品で、消費削減を目的とするペナルティー的な増税はすべきでないと考える。加えて、たばこ耕作農家、販売店など業界や地域経済にも壊滅的な影響をもたらす。「取りやすいところから取る」という安易な議論で、当社は断固反対する。

ではない。

社会保障費等の財源確保のためともいわれるが、すでに約二兆三千億円もの税貢献をしているのに、なぜ、さらに負担しなければならないのか。税の公平性に欠ける論理

JTコメント

議連主張

たばこ1箱

JT(日本た

年	値上げ
1985年4月～	
88年6月～	
94年6月～	
00年6月～	
06年6月～	

進まぬ規制

だ。得られた収入は、たばこの消費を減らす施策に使えばいい」

松瀬学のスポーツ時評

高圧酸素カプセル

根拠あいまい 騒ぎすぎ？

これがドーピング違反にあたるとは…。たぶんベッカムや斎藤佑樹もびっくりだろう。

けがや疲労の回復に効果があるといわれる『高圧酸素カプセル』のことである。先週、この使用をめぐり日本オリンピック委員会（JOC）の理事会が珍しく紛糾した。

ドーピング違反の場合、禁止薬物の類ではなく、もちろん検査で発覚することもない。

これがなぜ、ドーピング違反にあたるのか。じつは世界反ドーピング機構（WADA）の判断を受け、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が見解を出した。「高圧酸素カプセルは酸素摂取や酸素運搬、酸素供給を人為的に促進する可能性があることから、WADAの健康・医学・調査委員会において、WADA禁止表に定める禁止方法に該当するという結論が示されているため、現時点では使用を控えるべき方法と考えます」

つまり、将来的にドーピング違反にあたると判断されそうだから、日本では早めに使用を禁止しましょ、ということだ。

河野委員長は説明する。「解釈の問題です。社会の問題のなり具合によって、その取り扱いが変わってくる。アンフェアだということです」と。

でもアンフェアだというなら、話題の高速水着の方が問題じゃないのか。高地トレーニングはどうなのだ。減量手段のサウナだって危ない。

WADAの禁止リストに明記はされておらず、国際オリンピック委員会（IOC）の対処もまだ示されていない。当然、違反事例もない。シロクロつける明快な根拠がないのである。

JOC理事も頭をひねるばかりだ。「ばれなかったらいいのか」「いつからダメなのか」。結局、JOCとして北京五輪には酸素カプセルを持ち込まない方針を示した。

はっきり言って騒ぎすぎだ。ドーピングには厳格に対処すべきだが、過剰反応ではないか。そもそも治療目的の高圧酸素治療室と違い、酸素カプセルの効果は薄いと聞く。アンフェアというほどの科学的根拠がない。

事態がきちんと整理される前にJOCが先走ると、困るのは選手側だ。時には静観してもいいじゃないの。硬軟織り交ぜた対応がないと選手は窒息してしまう。

（ノンフィクション作家）

北京五輪に向け、河野一郎アンチ・ドーピング委員長が「ドーピング違反となる可能性」を示したからだった。

ドーピングとは、競技能力を向上させることを目的として、薬物などを不正に使用することを指す。ドーピング検査で陽性反応を示せば、違反となる。でも酸素カプセル

野球解説者 川口和久

眠っているままにしないでください。
そんなピアノお売りください！

■ピアノのリサイクルは地球環境にやさしい。
■世界の子供たちにお届けします。
■どこの国に届けられたかをその国々の絵ハガキでご報告します。

まずはJPS

1. お問合せ・査定　2. 代金お支払い

※お問合せの際には、メーカー名、ペダル数、製
を事前にご確認ください。

電話一本無料査定 0120 FreeDial 0120

JPS Japan Piano Service 株式会社ジャパンピアノサービス
関東・北海道・東北・中部・関西・中国・九州（一部
本社／埼玉県所沢市くすのき台3-18-8 TEL.04-2997-2500